



今月は「フィリピン」を覚えてお祈りください

フィリピンは、東南アジアに位置する共和制国家である。島国であり、フィリピン海を挟んで日本、ルソン海峡を挟んで台湾、スルー海を挟んでマレーシア、セレベス海を挟んでインドネシア、南シナ海を挟んで中国およびベトナムと対する。フィリピンの東にはフィリピン海、西には南シナ海、南にはセレベス海が広がる。首都はマニラ。国名は16世紀のスペイン皇太子フェリペにちなんでいる。

フィリピンの経済・政治・宗教について

フィリピンの経済は農業と産業によって成り立っている。急激な人口増加、広く横行している政治的腐敗、保護貿易主義、不安定な社会と政治や度重なる自然災害によって経済は破壊されており貧困率と失業率は非常に高い。裕福層と貧困層の格差は大きく、経済発展は高い犯罪率などの諸問題によって妨げられている。国民の30%以上は貧困線以下の水準で暮らしている。

フィリピンは1565年～1898年までスペインの植民地であった。カトリックが主宗教であり、スペインの文化が今でも深く浸透している。1946年に独立するまでアメリカの支配下にあった。1971年に共産政権が転覆し、国は一党制の政権を持つことになった。国民の人権を無視していたマルコス政権は1986年まで続いたものの、後任の政権も2001年には力を失った。近年ではアメリカ的な共和国をあらためて、議会による民主的な国の運営が検討されている。

信教の自由が認められており、カトリック・クリスチャンが最も大きな影響力を持っている。単立や教団によるプロテスタント教会も増えてきている。ミンダナオ島にある少数派のイスラム教徒は独立したイスラム州をつくらうとしている。

フィリピンのその他の情報

面積:300,000 km² (日本の約79.4%) 人口:93,616,853(日本の約73.7%)

宗教:	
キリスト教	92.25%
イスラム教	5.65%
無宗教	1.10%
土着宗教	0.55%
バハイ教	0.25%
仏教	0.10%
中国宗教	0.10%



ルソン島北部に広がる世界遺産フィリピン・コルディリエーラの棚田群 庶民の足「トライシクル」



「主よ。あなたは私の神。わたしはあなたをあがめ、あなたの御名をほめたたえます。あなたは遠い昔からの不思議なご計画を、まことに、忠実に成し遂げられました。」イザヤ書 25章1節

祈禱課題

フィリピンの経済や政治のために

正義が果たされることを求める政府が何よりも必要である。過去20年で約480億ドルが汚職やわいろでなくなったとされている。政治的腐敗がなくなるように。また台風や津波、地震などによる自然災害も後を絶たない。農業従事者の多くは自分の土地を持っていない。彼らに土地が認められ与えられれば貧困率が確実に下がるだろう。

成長を続けるプロテスタント教会を覚えて

新しい教会が開拓されていくためのビジョンが与えられるように。また既存の教会が一致されるように。フィリピンには登録されているだけで2000もの教会・教団がある。これに加えて未登録の異端やカルトもある。救霊のために神の知恵が与えられるように。新しく救われた人やできたばかりの教会には聖書的な教えが必要とされている。教会に聖書的なリーダーや教師が多く与えられるように。また、貧困に苦しむ教会も少なくない。フィリピンの教会が霊的にも経済的にも健康に、ビジョンをもって宣教の働きに進むことができるように。

福音を必要とする民族や部族を覚えて

ミンダナオ島にはイスラム教の人々が多い。ミンダナオ島とボルネオの間にあるスルー諸島にもイスラムの3部族が住んでいる。これらにはすでにいくつかの宣教団体が働きを進めている。パラワン島はイスラム教の移住者によって急速に発展しているが、ここにも福音を聞いたことがない部族がいくつか住んでいる。ルソンにおいてはアニミズムからキリスト教へと回心している山岳の部族が多く与えられている。福音宣教がフィリピンの隅々まで行き届くように。